

特殊小型船舶操縦士学科試験

問題	
----	--

受験番号	
------	--

【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

【受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	全科目 (問1～問40)	50分
一級、二級	運航 (問23～問40)	20分

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(特殊小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 陸上交通と比べた場合の水上交通の特性について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 水上では、外力の影響により同じ位置にとどまることが陸上ほど簡単ではない。
- (2) 水上は見通しがよいので、周囲の安全確認が陸上ほど重要ではない。
- (3) まわりに他の船舶がいなければ、どこでも高速で航行することができる。
- (4) 陸上と同じようにガソリンスタンドがあちらこちらに設置されている。

問2 大型船の一般的な特性について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 舵効かじききが悪いので、舵を取ってから実際に針路が変わるまでに時間がかかる。
- (2) 大きな出力のエンジンを積んでいるので、緊急時はすぐに停船できる。
- (3) 最新の航海計器を積んでいるので、他の船舶との衝突を簡単に避けることができる。
- (4) ブリッジからは周りをよく見渡せるので、近くにいる小型船舶の動きがよく分かる。

問3 養殖漁業について述べた次の文のうち、適切なでないものはどれか。

- (1) 一定の区域に施設を設置して、カキや魚類、ノリなどを養殖している。
- (2) 養殖施設は、海岸に近い水域に密集して設置されることが多い。
- (3) 養殖される魚の種類によってさまざまな施設があり、同じ種類でも地域によって形状が違う。
- (4) 養殖用のいかだやいけすは常に水面下に設置されていて、水上からは全く見えない。

問4 船舶の海難事故において、港内を含む陸岸から3海里以内の水域で発生したものの割合はどのくらいか。次のうちから選べ。

- (1) 約95%
- (2) 約80%
- (3) 約30%
- (4) 約10%

問5 小型船舶の船長が所有する船舶の登録について述べた次の文のうち、適切なでないものはどれか。

- (1) 登録を受けていない船舶を航行させてはならない。
- (2) 登録を受けた場合は、自分で船体識別番号を船体に刻まなければならない。
- (3) 登録を受けた場合は、船舶番号ゆずを船体じょうとに表示しなければならない。
- (4) 登録を受けた船舶を他人に譲る場合は、譲渡証明書を作成して交付しなければならない。

問6 車を利用してボートや水上オートバイを持ち込む場合のマナーについて述べた次の文のうち、適切なでないものはどれか。

- (1) 空き地であっても、許可なく車で乗り入れないようにする。
- (2) 駐車禁止場所や他の人の迷惑になる場所に、駐車しないようにする。
- (3) 燃料やオイルを、海岸に捨てたりこぼしたりしないようにする。
- (4) 艇を降ろした後、トレーラーはそのまま水際に置いておくようにする。

問7 小型船舶の船長が、出航するときに家族やマリナーなどに知らせておかなければならない事項として最も重要なものは、次のうちどれか。

- (1) 航行予定水域
- (2) 機関の出力
- (3) 燃料の搭載量
- (4) 免許の種類

問8 プレジャーボートの保険について述べた次の文のうち、適切なでないものはどれか。

- (1) 自分の船の運航状態に合った保険を選ぶようにする。
- (2) 万一の場合に備えて、保険に加入しておく方がよい。
- (3) 水上オートバイであっても、保険に加入することができる。
- (4) プレジャーボートの保険では、搭乗者に対する補償は受けられない。

問9 小型船舶の船長は、その時の状況に適したすべての手段により常時適切な見張りを行わなければならないが、次のうち、適切でない手段はどれか。 (小型船舶操縦者法)

- (1) 遠くまで見えるように双眼鏡を使った。
- (2) 暗くなったので前方の見張りに集中した。
- (3) 視界が悪くなったので耳をすました。
- (4) 定期的にレーダーを使用して周囲を確認した。

問10 操縦免許証が失効するのはどのような場合か。次のうちから選べ。 (小型船舶操縦者法)

- (1) 船を他人に売った。
- (2) 有効期間を更新しなかった。
- (3) 外国に移住した。
- (4) 結婚して名前が変わった。

問11 移転登録はどのようなときに行う登録か。次のうちから選べ。(小型船舶の登録等に関する法律)

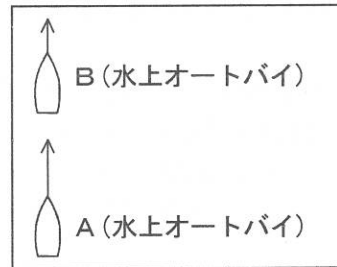
- (1) 小型船舶の船籍港を移転したとき
- (2) 小型船舶の所有者に変更があったとき
- (3) 小型船舶の所有者の住所を移転したとき
- (4) 小型船舶の船名を変更したとき

問12 環境への配慮として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 騒音や大気汚染につながるので、エンジンの悪質な改造を行わないようにする。
- (2) 出航前の点検時は、できるだけエンジンの回転を上げて調子確かめるようにする。
- (3) 岸から十分に離れるまで、必要以上にスピードを上げて航行しないようにする。
- (4) 生態系に与える影響を小さくするため、環境対応型のエンジンを使うようにする。

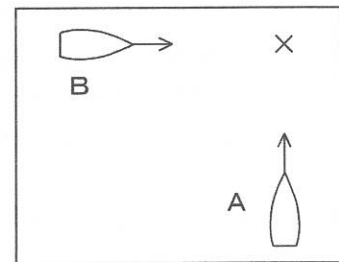
【交通の方法】

問13 右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越そうとする場合のB船の航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)



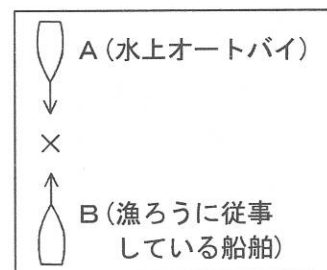
- (1) 針路を右に転じ、Aの進路を避ける。
- (2) 針路を左に転じ、Aの進路を避ける。
- (3) 針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
- (4) できるだけ早めに停船する。

問14 右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り×印の付近で衝突するおそれがあるとき、B船はどのようにしたらよいか。次のうちから選べ。 (海上衝突予防法)



- (1) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
- (2) 右転して、Aの船尾方向を通過する。
- (3) 速力を上げて、Aの船首方向を横切る。
- (4) 急速に短音5回以上の汽笛信号を行う。

問15 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)



- (1) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
- (2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
- (3) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
- (4) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。

問16 近づいてくる他の船舶と衝突するおそれがあると判断しなければならないのは、次のうちどの場合か。 (海上衝突予防法)

- (1) 他の船舶の針路が変わらない場合
- (2) 他の船舶の速力が変わらない場合
- (3) 他の船舶の見える方位が変わらない場合
- (4) 他の船舶との距離が変わらない場合

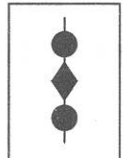
問17 視界制限状態の水域で他船の霧中信号を聞いたときの行動について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。(海上衝突予防法)

- (A) 他船の霧中信号が前方から聞こえてきたときは、舵が効く最小限度の速力に落とさなければならない。
 (B) 他船の霧中信号が後方から聞こえてきたときは、やむを得ない場合を除いてエンジンを停止しなければならない。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問18 昼間、右図の形象物を表示しているのはどのような船舶か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

- (1) 操縦性能制限船 (2) 船舶等を引いている動力船
 (3) 錨泊中の船舶 (4) 漁ろうに従事している船舶

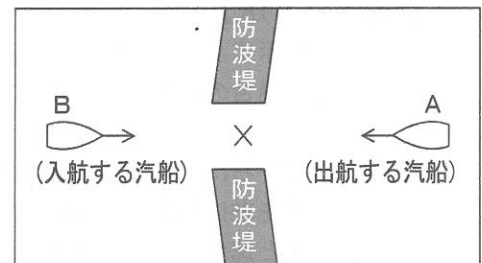


問19 水上安全条例について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 水上安全に関する指導や啓発を行うため、水上安全指導員を置く場合がある。
 (2) 河川や湖沼における船舶の交通の方法について規定している。
 (3) 条例に違反した者は、懲役や罰金などの罰則が適用される場合がある。
 (4) 条例に違反した者の取締りは、海上保安庁が行っている。

問20 右図に示すように、港内を航行中の2隻の船舶が×印の付近で出会うおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(港則法)

- (1) Aは防波堤の内でBを避け、Bはそのまま入航する。
 (2) Bは防波堤の外でAを避け、Aはそのまま出航する。
 (3) A、Bともに右側に寄って航行する。
 (4) A、Bともに左側に寄って航行する。



問21 港内の航路における航法として誤っているものは、次のうちどれか。(港則法)

- (1) 航路内では、他の船舶と横に並んで航行してはならない。
 (2) 航路内では、他の船舶を追い越してはならない。
 (3) 航路内で他の船舶と行き会う場合は、航路の右側を航行しなければならない。
 (4) 航路を航行する船舶は、航路から航路外に出る他の船舶の進路を避けなければならない。

問22 海上交通安全法に規定された航路における一般的航法に該当しないものは、次のうちどれか。

- (1) 速力の制限 (2) 転舵の制限 (3) 横断の制限 (4) 錨泊の禁止

【運航】

問23 水上オートバイを操縦するときにとった行動として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 太陽光の水面反射がきつかったので、サングラスをかけて操縦した。
 (2) 水上オートバイ用のブーツがなかったので、はだしのまま操縦した。
 (3) 暑かったので、ライフジャケットのバックルやベルトを外して操縦した。
 (4) 緊急エンジン停止コードが邪魔だったので、ハンドルバーに巻き付けて操縦した。

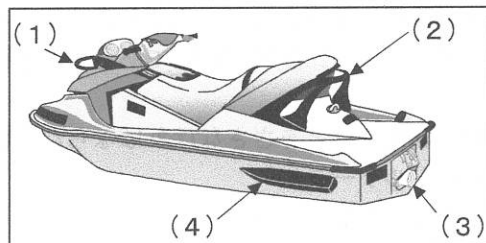
問24 母船に搭載された水上オートバイの航行区域は、母船を中心とした半径何海里以内の水域か。次のうちから選べ。

- (1) 1海里 (2) 2海里 (3) 3海里 (4) 5海里

問25 水上オートバイの運動特性について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 転覆することを前提に設計されているため、転覆しても人力で引き起こすことができる。
 (B) 推進力となるジェット噴流の向きを直接変えて方向転換するため、効率的で旋回性能が高い。
 (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問26 右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。図中(1)～(4)のうち、ハンドルバーと連動しているものはどれか。



問27 水中からシッティングタイプ的水上オートバイに乗艇する要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) リボートディングステップがある場合は、これを利用して乗艇する。
 (2) 水深の深いところでは後部から乗艇する。
 (3) エンジンが停止していることを確認してから乗艇する。
 (4) 水深の浅いところでは前部から乗艇する。

問28 走行中、前方のすぐ近くに発見した浮遊物を避ける場合の操縦について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 直ちにハンドルを操作し、スロットルを開けて加速しながら旋回する。
 (2) 浮遊物が小さいときは、スロットルレバーを戻して減速しながらハンドルを操作する。
 (3) 旋回性能を高めるため、ハンドル操作と同時に体重移動を行う。
 (4) 高速走行中のため旋回が急角度になるときは、落水しないよう注意する。

問29 エンジントラブルを起こした他の水上オートバイを曳航する^{えいこう}場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 速力を落としても追突されないよう、ロープの長さに気をつける。
 (2) 曳航される水上オートバイには誰も乗せずに、できるだけ軽くする。
 (3) 曳航中はロープや引いている艇の状態を確認するため、後方の見張りに集中する。
 (4) 低速では引いている艇が転覆するおそれがあるので、できるだけ高速で曳航する。

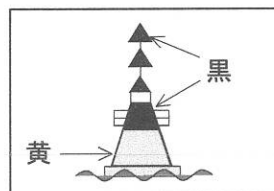
問30 走行時の一般的な注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 目標を決め、その目標に向かって走行すると、進路を保ちやすい。
 (2) 直進時に船首目標を決めるときは、遠くではなく、なるべく近くにあるものを選ぶ。
 (3) 陸近くを航行するときには、気付かないうちに岸に近寄ってしまうことがあるので注意する。
 (4) 前方にある2つの重なった目標を利用すると、進路のずれが分かりやすい。

問31 右図に示す標識は、次のうちどれか。

ただし、黄、黒は標体の塗色を表す。

- (1) 北方位標識 (2) 東方位標識
 (3) 南方位標識 (4) 西方位標識



問32 1海里は何メートル(m)か。次のうちから選べ。

- (1) 910m (2) 1,000m (3) 1,609m (4) 1,852m

問33 発航前のバッテリーの点検について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ターミナルが確実に外れていることを確認する。
(2) バッテリー液が規定量入っていることを確認する。
(3) 本体が確実に固定されていることを確認する。
(4) バッテリー液の比重が規定値であることを確認する。

問34 定期的に潤滑剤^{じゆんかつざい}などをささなければならない部品として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) スロットルケーブル (2) シフトケーブル
(3) ステアリングケーブル (4) 緊急エンジン停止コード

問35 エンジンを停止した後、しばらくして再始動を試みたところ、バッテリーの充電が不十分でエンジンを始動できなかった。この場合に考えられる原因として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) バッテリーが艇体に確実に固定されていなかった。
(2) バッテリー液の注入孔のキャップがゆるんでいた。
(3) バッテリーの下部が水につかっていた。
(4) バッテリーのターミナルがゆるんでいた。

問36 「晴れ」を表す天気記号(日本式)は、次のうちどれか。

- (1) ● (2) ☉ (3) ① (4) ⊗

問37 海岸付近を走行する場合の注意事項について述べた次の文の()の中に当てはまる語句として適切なものは、下のうちどれか。

「夏から秋にかけて太平洋に面した海岸に押し寄せる土用波^{どようなみ}は、南方洋上で発達した()によるうねりが到達するもので、海辺に風がなくても波が高いことがあるため注意が必要である。」

- (1) 高気圧 (2) 寒冷前線 (3) 突風 (4) 台風

問38 潮汐^{ちようせき}について述べた次の文の()の中に当てはまる語句として適切なものは、下のうちどれか。

「潮汐を起こす主な力は天体の引力によるもので、その天体は()と太陽である。」

- (1) 地球 (2) 水星 (3) 金星 (4) 月

問39 水上オートバイの衝突事故の原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 見張り不十分 (2) 操縦不適切 (3) 過大な速力 (4) 船位不確認

問40 走行中、溺^{おぼ}れている人を発見して救助する場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 風向や川の流れなど、外力の影響を考慮して近づく。
(2) 要救助者の安全に気を配りながら、できるだけ素早く近づく。
(3) 要救助者の衣類などを、ジェットインテークに吸い込まないように注意する。
(4) 救助後は、むやみに移動せずその場で待機する。